

繋ぐもの



平和学習に 半田市立半田中学校 二年 後藤 百叶

応募したきっかけ

最近メディアにも多く取り上げられているウクライナ戦争のニュースを見たことです。調べてみると核兵器の存在が世界を脅そうとしていることがわかり、核兵器がどれだけ危険なのかを実際に行き学びたいと思ったからです。

広島に行って

今回私は広島に行き、原爆について、平和について学んできました。原爆を学ぶことで想像以上に残酷な姿にショックを受けました。そこには、苦しむ人、痛みに耐えられず飛び降りる人、死んだ事にも気づかない人々の記録がありました。想像した事ありませんでした。皮膚が熱で溶け、水を求め黒い雨が降り、希望だと思ったらそれには有害な放射線が含まれていて、それを体に入れると体をむしばみ苦しみ最後は死ぬ、もし生き残っても後遺症を患ってしまう。その光景はまるで地獄絵図でした。たった一発です。たった一発の爆弾で人々がどれだけ苦しんだか、想像できません。でも希望を信じて必死に生きようと、抗っていた人もいました。資料館の最後には原爆で苦しみながらも新たな命を預かりとても可愛い赤ちゃんを抱えた家族の写真がありました。そして生きる事は、とても幸せなことなんだと心の底から思いました。

現在の広島

現在、広島は緑に溢れています。原爆のせいで木々は荒れ果て、もう再生不可能と言われてた土地が美しい空の下で生きていました。この何気ない、日常を壊してはいけな。不自由なく今を生活している事に本当に感謝しました。悲しい過去ですがもう二度と原子爆弾が使われならないためにも、たくさんの人に原爆の恐ろしさについて、平和の大切さについて、受け継いでいきたいと思います。

